

特集

学びは進化する

タブレット端末などを使用したICT教育が学校に浸透し、児童生徒の学び方も少しずつ変化しています。今回の特集では、小学校の授業の様子などを通して、ICTを活用した学びの変化や学校での取り組みを紹介します。

問い合わせ 教育総務課



ICTとは

ICTとは、インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジーの略で、日本語では、情報通信技術と呼ばれます。

ICTは、私たちの生活や社会の仕組みを支える大切な技術として、日常の中に浸透しています。

学校教育の中でも、電子黒板やタブレット端末などを活用した授業や、コンピュータでの情報管理など、ICTの活用が進められています。

なぜ学校教育でICT活用が進められているの？

近年、デジタル技術が急速に発展する社会では、情報を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決したり、自分の考えをまとめた「情報活用能力」が求められています。そのため、学校教育でもICTの活用が重視されるようになりました。このような背景から、国は令和元年度から「GIGAスクール構想」を進め、全国の児童生徒に一人一台の学習用端末と高速通信ネットワークの整備を行うなど、社会の変化に対応した教

育の質の向上を目指しています。

岡垣町の取り組み

町では、令和2年度に全ての児童生徒にタブレット端末を配付しました。また、全ての小・中学校の各教室に電子黒板を導入しました。現在は、端末の更新や学校の事務のデジタル化、学校内のネットワーク環境の改善に取り組んでいます。

ICTで学びはどう変わる？

ICTを活用することで、量・質ともに充実したデータを収集・分析・活用することが可能になります。児童生徒は自分のペースで学習したり、先生は児童生徒の興味・関心に応じた学習課題を提供したりすることができ、また、共同編集ツールなどで、自分の考えをまとめて共有したり、友達の意見を参考に学びを深めたりすることもできます。

ICTは、子どもたちの学びの可能性を広げるための大切なツールとして活用されています。



- ①タブレット端末で自分の意見をクラスメイトと共有
- ②電子黒板を使ってグループでプレゼンテーション資料の話し合い
- ③タブレット端末でアサガオの成長の様子を撮影
- ④撮影したアサガオの写真を電子黒板で共有

学びに向かう力

- 正しい情報や知識を自ら得ようと行動する姿勢
- さまざまな視点から情報を考えようとする姿勢

など

知識・技能

- 情報を安全に活用するための知識
- 表や図、プレゼンテーション資料などを作成して、集めた情報を整理する力

など

思考・判断・表現力

- 情報を活用して課題を解決する力
- 課題を見つけ、自分なりに考え、表現する力

など

ICTで育む 情報活用能力

ICTを活用した学び方

自分らしく学ぶ（個別最適な学び）

タブレット端末などを活用し、習熟度に応じた問題に取り組み、自分のペースで復習・予習を行うことができます。

みんなで学ぶ（協働的な学び）

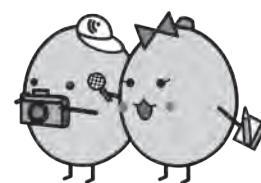
共同編集ツールなどを使って、仲間と意見を出し合い協力して課題を解決したり、多様な視点を共有したりすることができます。

※協働：同じ目的のために、対等の立場で協力して共に取り組むこと



どう変わった？学校での学び

海老津小学校の児童と先生に、学校での学びの変化や ICT を活用した授業の話聞きました。



■タブレット端末を使って良かったことは？

アサガオの写真を撮って記録するのが楽しかったです。毎日少しずつ大きくなるのがよく分かりました。(五十嵐さん)
写真を比べることができるので、どこが変わったのかよく分かります。(山本さん)

1年生



五十嵐茉莉さん 木下結菜さん 山本滯桜さん

■タブレット端末を使うのは難しいですか？

最初は少し難しかったけど、何回も使っているうちにできるようになりました。(木下さん)

5年生



吉田結真さん

■学び方は変わりましたか？

分からないことがあったときにすぐ調べられるので、学習が進めやすくなりました。ノートに書いてまとめるよりも、短時間で内容を整理できます。ただ、インターネットの情報は全部が正しいとは限らないので、本当に正しい情報かどうかを確認するようにしています。

■学校ではどのような場面でタブレット端末を使っていますか？

授業では、調べ学習をしたり自分の考えをまとめたりするときに使っています。みんなの考えをすぐに共有できるので、自分とは違う考え方を知ることができ、新しい発見があります。宿題でも、国語の音読を録音したり算数の計算問題を解いたりするときに使います。

6年生



宮崎桜子さん

■授業で意識していることはありますか？

ICT 機器を使うこと自体が目的にならないように心掛けています。この授業ではタブレット端末が効果的か、ノートや教科書を使った方が良いかを考えながら、それぞれの良さを生かした授業づくりを行っています。

■授業以外でも ICT 機器を活用していますか？

こころの健康観察やアンケートにもタブレット端末を活用しています。また、全ての学年ではありませんが、毎日タブレット端末の持ち帰りを実施し、家庭学習にも活用しています。

■上手に付き合うために大切なことは？

近年、日常生活と ICT を切り離せませんが、危険性もあるということを知った上で利用してほしいです。授業や SNS 講演会などを通して、自分にとって最適な使い方を学んでほしいと思います。

先生



6年生担任 馬殿洋美 先生



ICT 機器と上手に付き合うために

ICT 機器は学びを広げる一方で、使い方によってはさまざまなトラブルや悪影響につながる恐れがあります。どのようなことに気を付ける必要があるのかを知り、安全で適切な使い方を身に付けることが大切です。

知っておきたいリスク

身体面

- ・目の疲れや視力低下
- ・運動不足
- ・睡眠リズムの乱れ



学習面

- ・検索への依存
- ・読み書き、計算の機会の減少



心の発達・人間関係

- ・SNSトラブル
- ・ネットいじめ
- ・ネット依存



学校での取り組み

- ・タブレット端末にフィルタリングを設定
- ・タブレット端末を持ち帰るときのルールを作成
- ・教育委員会と連携し、保護者と児童生徒と一緒に学ぶ講演会を実施



家庭での取り組み

- ・学校からタブレット端末を持ち帰るときのルールを確認し、家庭でもタブレット端末やスマートフォンなどの使用ルールを決める



ICT 機器使用ルールの例

- 使用時間を決める
- ID を他人に教えない
- 正しい姿勢で使用する
- 決められたアプリを使う



未来を生きる力を育むために

令和2年度に導入したGIGAスクール構想は7年目を迎え、着実に成果を上げています。町内の小・中学校では、電子黒板や一人一台のタブレット端末を活用しながら一人一人の理解度や興味・関心に応じた「個別最適な学び」と、仲間と考えを共有しながら学びを深める「協働的な学び」が浸透してきています。子どもたちが自ら考え、調べ、多様な考えの中で交流する学習活動も日常的に行われるようになり、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が大きく前進しました。また、各学校の実態に応じてタブレット端末の持ち帰りを行い、家庭学習にも活用しています。学校と家庭の学びをつなぎ、子どもたちの主体的な学習習慣の定着を図っています。さらに、学習面だけでなく「こころの健康観察」や各種アンケートの実施で、児童生徒の小さな変化や日々の様子を早期に把握し、きめ細かな支援につなげることもできます。

ICTは、単に機器を使うことが目的ではありません。子どもたちの学びの可能性を広げ、情報を適切に活用する力や、自ら考え、行動する力を育むための大切な学習ツールです。今後もICTを効果的に活用しながら、誰一人取り残さない教育環境の充実と、子どもたちが未来を切りひらくために必要な資質・能力の育成に努めます。

岡垣町教育長 古賀弘明

